

2024年ITU世界電気通信標準化総会（WTSA-24） 結果概要

令和 6 年 1 2 月
国 際 戦 略 局
通 信 規 格 課

ITU世界電気通信標準化総会(WTSA-24)について

世界電気通信標準化総会 (WTSA : World Telecommunication Standardization Assembly)

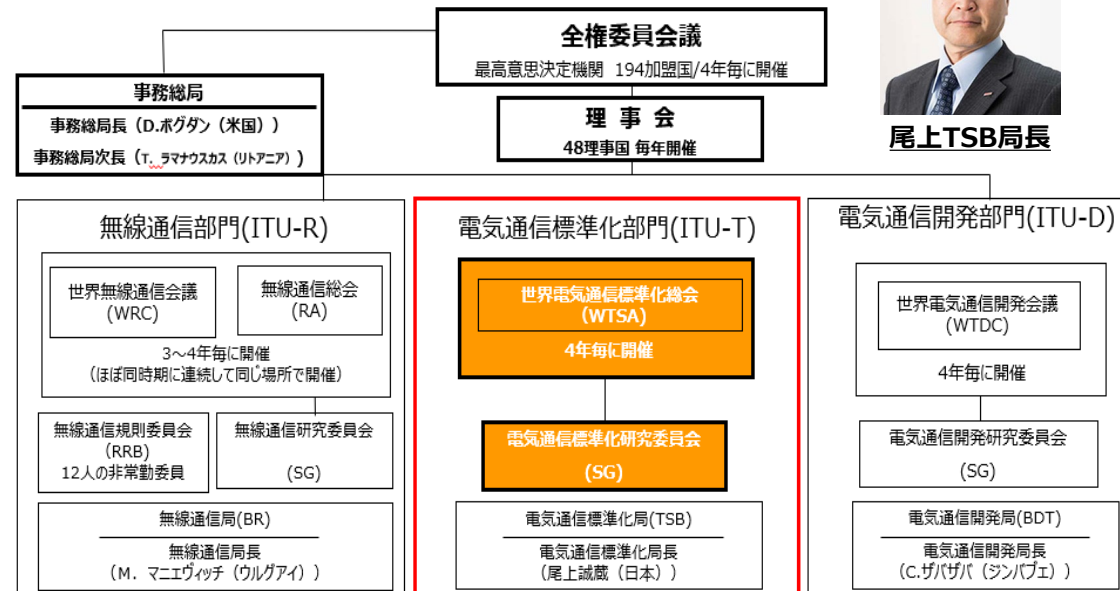
- 国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) における標準化活動の方向性を決める総会
- 開催期間：2024年10月15日（火）～10月24日（木）
- 開催地：インド共和国（ニューデリー） 会場：Pragati Maidan
- 今回のWTSA-24では、世界164ヶ国、約3,700名(オンライン含む)、日本からは40名が現地参加
- 4年に1度開催（前回総会（WTSA-20）はコロナ禍のため2年延期され、2022年開催）
- 尾上TSB局長就任後、初のWTSA開催

WTSAの主な議題

- 次期研究会期における**研究課題の承認**
- 次期研究会期におけるSG※1及びTSAG※2
議長・副議長の任命
- ITU-Tの作業方法や作業計画等の指針となる
決議案の承認
- 国際標準となる**勧告案の承認**

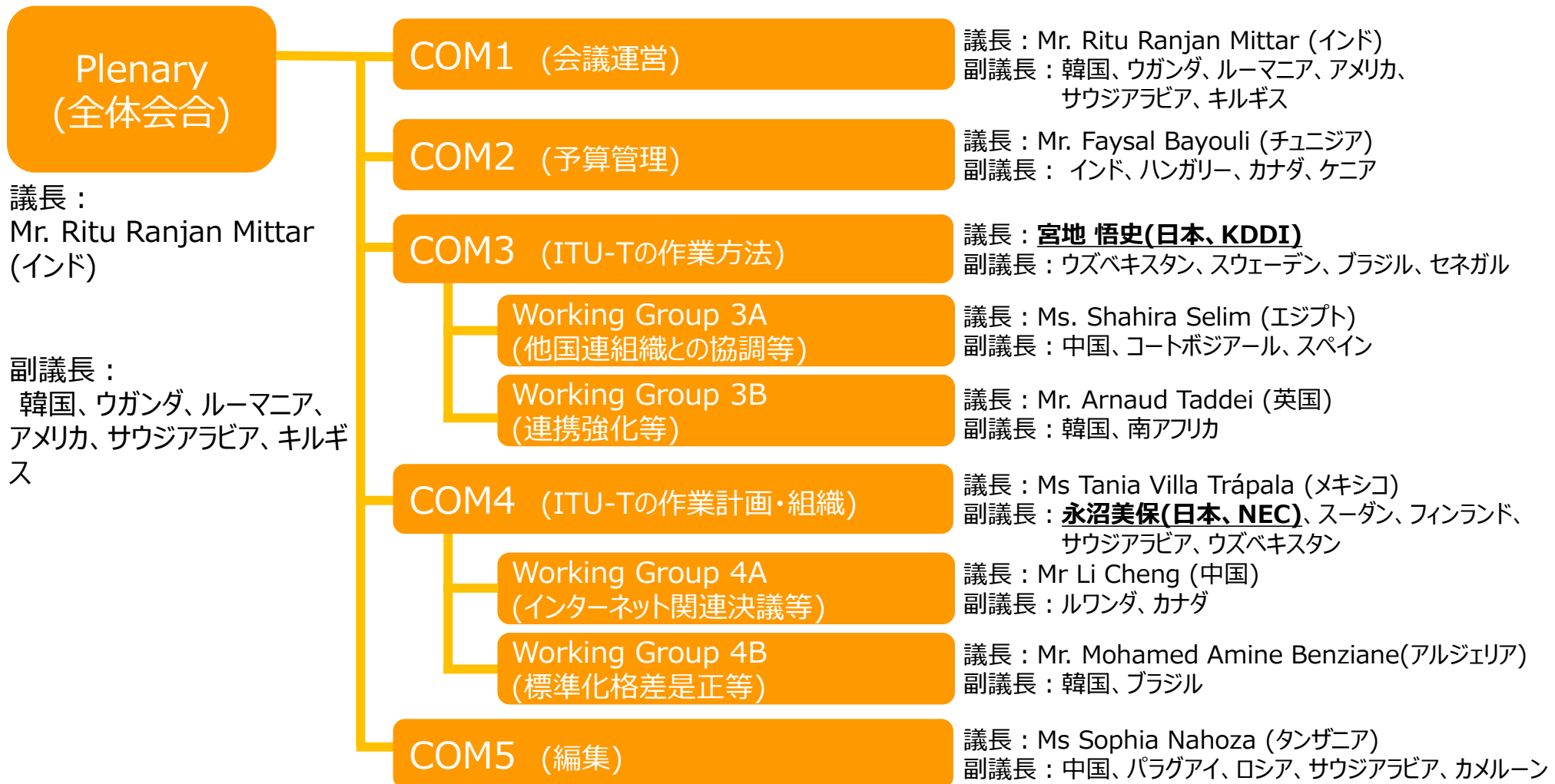
※1 SG : Study Group 研究委員会

※2 TSAG : Telecommunication Standardization Advisory Group



WTSA-24会合構成

- 我が国より、COM3議長として宮地氏(KDDI)、COM4副議長として永沼氏(NEC)が任命された。



次会期に向けた研究委員会・課題の承認

【SG21新設の承認】

- ・ITU-Tにおける作業の効率化に向け、日本から提案のSG9とSG16統合について、Opening Plenaryにおいて、諸外国からの異議なく、全会一致で合意された。
- ・統合後のSGの名称は、Closing Plenaryにて「SG21」とすることが発表された。

【研究課題の承認】

- ・決議2(SGの責任及び担務)審議の中で、各研究委員会(SG)における次会期研究課題が承認がされた。
- ・一部のSGについて活動内容を踏まえ、タイトルが変更された。

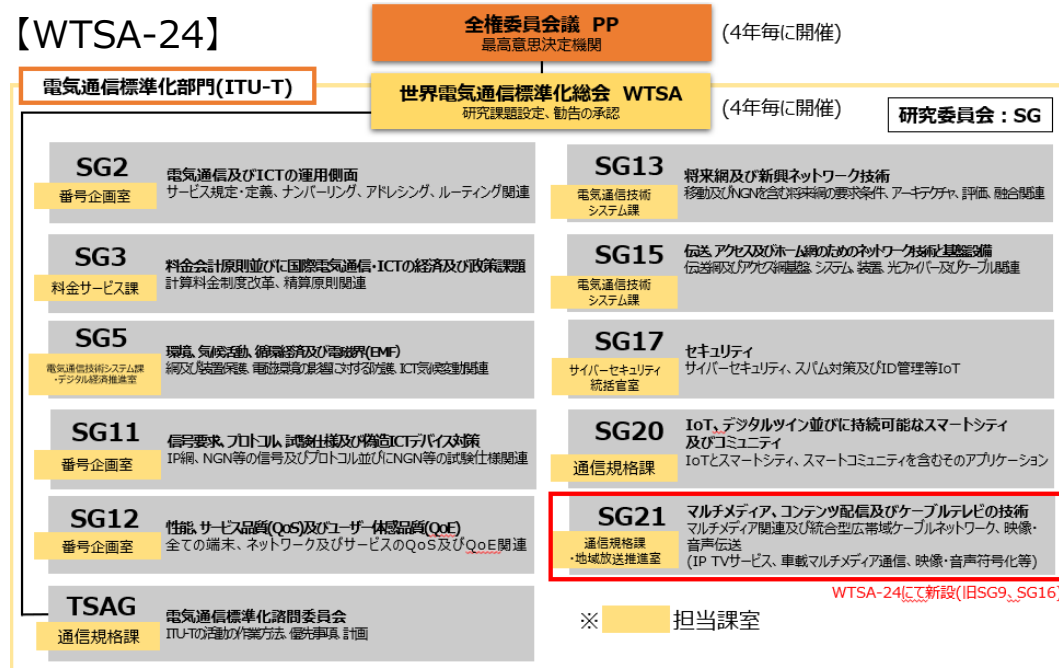


尾上局長よりSG統合、SG21新設の説明

【WTSA-20】



【WTSA-24】



WTSA-24にて新設(旧SG9、SG16)

TSAG/研究委員会(SG)活動内容、及び役職者の任命

- 18日(金)のPlenaryにて次期研究会期におけるTSAG/SGの議長、副議長の承認が行われ、我が国からは、議長1名、副議長7名が任命された。

SG等	タイトル	議長		副議長(日本)	
TSAG	ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画	Mr. Abdurahman Al Hassan (サウジアラビア)	再	永沼 美保(NEC)	再
SG2	電気通信及びICTの運用側面	Ms. Ena Dekanic (米国)	新	—	—
SG3	料金及び会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題	Mr. Ahmed Said (エジプト)	再	本堂 恵利子 (KDDI)	再
SG5	環境、気候活動、循環経済及び電磁界(EMF)	Mr. Dominique Wurges (フランス)	再	—	—
SG11	信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策	Mr. Tejpal Singh (インド)	新	鈕吉 薫(NICT)	新
SG12	性能、サービス品質及びユーザー体感品質	Ms. Tania Villa Trapala (メキシコ)	再	山岸 和久(NTT)	再
SG13	将来網及び新興ネットワーク技術	谷川 和法 (NICT)	再	—	—
SG15	伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備	Mr. Glenn Wilson Parsons (カナダ)	再	—	—
SG17	セキュリティ	Mr. Arnaud Taddei(英国)	新	磯原 隆将(KDDI)	新
SG20	IoT、デジタルツイン並びに持続可能なスマートシティ及びコミュニティ	Mr. Hyoungh Jun Kim (韓国)	再	山田 徹(NEC)	再
SG21	マルチメディア、コンテンツ配信及びケーブルテレビの技術	Mr. Zhong Luo (中国)	新	河村 圭(KDDI)	新

赤字は今回変更があったもの
新：新任、再：再任

決議案、勧告案の審議結果(1/4)

- 会期中、**合計69件**の決議案、勧告案の審議が行われ、**45件**の決議、勧告改定、**8件**の新決議がそれぞれ承認された。(次項)
- また、廃止された決議が1件、変更無しとなった決議が10件、新決議とならない提案が5件あった。

【主な改定、新決議】

SG統合に関わる議論(決議2、99)

- ・SG9と16の統合については、異議無く合意、SG21を新設。
- ・決議99(SGの組織再編の検討)について、役目を終えたとしてRCC※1から廃止提案あり。
- ・審議の結果、決議99を維持し、SG再編に向けた分析を継続することで合意。 ※1：ロシア地域

新決議(AI)

- ・新決議AIについては、3件の提案(APT※2、RCC、米・加・豪連名提案)あり。
- ・「安全性」や「信頼性」等のITU-Tマンドートを超える提案内容について議論され、マンドート内で関連するITU-T勧告、ガイドライン、ベストプラクティス、評価手続きの作成時にICTにAIを応用する作業を継続することで合意。

※2：アジア太平洋地域

新決議(メタバース)

- ・6地域機関全てから提案され、日本からも標準化活動への中小企業の参加を促進する内容等、積極的に議論に参加。審議の結果、各地域提案の共通要素を中心に、他関連機関と相互運用性も確保し、産業界からも積極的な参加を奨励する内容とすることで合意。

決議案、勧告案の審議結果(2/4)

改定された決議、勧告：45件、承認された新決議：8件

決議	和訳タイトル
2	ITU-TSGの責任及び担務
7	国際標準化機構(ISO)及び国際電気標準会議(IEC)との協調
11	郵便及び電気通信の両分野に関係する業務の研究についての万国郵便連合 (UPU) の郵便業務理事会 (POC) との協調
18	ITU-R、ITU-T及びITU-D間の作業割当及び協力・調整の強化のための原則と手続き
20	国際電気通信番号、ネーミング、アドレス付与及び識別資源の割当と管理手順
22	WTSA間のTSAGの権限
29	国際電気通信ネットワークにおける代替通話手段
32	ITU-Tの電子的作業方法の強化
34	任意拠出金
40	ITU-T作業の規制的側面
43	WTSAに向けた各地域での準備
44	発展途上国と先進国との間の標準化格差の是正
48	国際化(多言語)ドメイン名
50	サイバーセキュリティ
52	スパムへの対策／対抗
54	地域グループの設置及び支援
55	ITU-Tの活動におけるジェンダー視点の主流化
58	発展途上国向けのCIRT機能整備の促進
60	識別／番号システムの進化とIPベースのシステム・ネットワークとの統合に向けた検討
61	国際電話番号資源の悪用及び誤用への対策／対抗
64	IPアドレスの割当及びIPv6への移行と普及の促進
65	発信番号の送出、発信回線特定と発信者情報特定
67	連合の公用言語のITU-Tでの平等な使用
68	ITU-Tにおいて発展する産業界の役割
70	障がいや特別なニーズを持つ人々のための電気通信/ICTアクセシビリティ
72	電磁界への人体ばく露の測定及び評価に関する研究

決議	和訳タイトル
73	ICT、環境、及び気候変動
74	ITU-T活動への発展途上国セクタメンバの参加
76	適合性及び相互接続性試験、発展途上国支援、将来的なITUマークプログラムの実現に関する研究
77	ITU-TにおけるSDNの標準化活動
78	e-healthサービスへのアクセスを向上するためのICTアプリケーションと標準
79	電気通信/ICT機器から生じるe-wasteの扱いと管理における電気通信/ICTの役割及びその手法
84	電気通信／ICTサービス利用者の保護に関する研究
88	国際モバイルローミング
89	金融包摂ギャップを埋めるためのICT利用の促進
91	ITU-Tが公表する番号計画情報の電子的レポジトリへのアクセス強化
92	IMTの非無線分野に関するITU-T標準化活動の強化
93	4GとIMT-2020及び後継網との相互接続
94	クラウドベースのイベントデータ技術のためのITU-Tの標準化作業
96	電気通信/ICT装置の偽造対策のためのITU-Tの研究
97	移動体通信端末の盗難対策
98	世界的発展のためのIoTとスマートシティ・コミュニティの標準化の強化
99	ITU-T SGの組織再編の検討
100	アフリカ共通の緊急電話番号
A.25	ITU-Tと他の組織の間でテキストを組み込むための一般的な手順398
NEW	ITU-T次世代専門家の参加促進、プログラム開発
NEW	メタバース標準化の推進と強化
NEW	電気通信/ICTを支援するAI技術に関するITU-Tの標準化活動
NEW	持続可能なデジタルトランスフォーメーションに関する標準化活動の強化
NEW	車載通信のための標準化活動の推進と強化
NEW	デジタル公共インフラに関する標準化活動の強化
NEW	ITU電気通信標準化部門における戦略立案
NEW	緊急通信のための端末由来の発信者位置情報の提供

赤字は新決議

決議案、勧告案の審議結果(3/4)

【廃止された決議】

ITU-T出版物作成へのメンバの積極的参加の推奨(決議80)

- ・本決議は役割を果たしたとのAPTからの提案。意見無く合意。

【審議の結果、変更されなかった主な決議、勧告案】

ITU-Tの手続き規則(決議1)

- ・会議に関するルールなどを明確にする改定提案となっており、会議出席は、オンライン・オフラインを問わないとすることや、役職者は二回連続で会合欠席した場合解任等。NOC※1主張とMOD※2主張とが拮抗したことに加え、改訂提案の分量が膨大で合意が得られずNOCにて終了。TSAGで継続審議となる。

※1 : No Overall Change 変更無し ※2 : Modification 修正

国際電気通信規則(ITR)の定期的な見直し及び改訂へのITU-Tの参加(決議87)

- ・ITRの見直しプロセスをより新技術に対応するものとし、規制が世界のICTの状況に適応できるようにすることを目的とした改定提案だったが、現状のままで充分役割を果たしているとしてNOC提案も出ており、意見が対立。合意に至らずNOCとなった。

ITU電気通信標準化部門の研究会の作業方法、出席欠席率(勧告A.1)

- ・主な改訂内容は2つのITU-Tメンバーが支持すれば新規作業項目を開始出来るという文章を追加。改訂に向け議論の要求あったが、過去2年以上TSAGにて議論してきた内容で、次会期もTSAGにて継続議論すべき内容と異論あり、議論の結果、合意を得られずNOCとなった。TSAGで継続審議となる。

決議案、勧告案の審議結果(4/4)

【審議の結果、新決議にならなかった提案】

- ・デジタルID、及びクレデンシャルに関する標準化作業の内容(DI)
- ・耐量子暗号の実装と移行の促進(PQC)
- ・非静止軌道衛星ネットワークによるグローバル接続の強化(NGSO)
- ・Over-The-Top(サービス)、OTTを推進するためのグローバル
コラボレーションの強化(OTTs)
- ・緊急事態、及び災害のリスク管理と準備、リスク軽減、緩和、救援のための
電気通信技術の使用(DRM)

**上記5件の新決議案に加え、その他の未改定決議等、
合計15件がWTSAアクション※として、記録に残されることとなった。**

※アクション：具体的な行動指示が記録されること

電気通信標準化部門における研究体制(2025-2028)

